

第1子から出産祝金支給

3月定例会議で出産祝金条例や表彰条例の改正、2年度補正予算などの審議が行われました。主な内容は次のとおりです。

条例

● 出産祝金条例

次代を担う子どもの誕生を祝福するため、第1子10万円、第2子20万円、第3子以降30万円を支給する。3年4月1日以降に生まれた子どもが対象。

● 表彰条例の改正

表彰の目的、種類、基準及び審査方法を明確化するため全部を改正。

● 道路占用料徴収条例の改正

改正
道路法施行令の改正に伴い、占用料を見直し。
● 葛巻高原食品センター条例の改正
施設・設備の資産価値を見直したことによる施設使用料の見直し。

人事案件

● 固定資産評価審査委員会の委員

村木良悦さん（下町・再任）を選任することに



すくすく育つ赤ちゃん



村木良悦さん

同意。任期は3年4月15日から6年4月14日まで。

その他

● 指定管理者の指定

◇ 施設名 酪農ヘルパー住宅
◇ 指定管理者 新いわて農業協同組合
◇ 指定期間 3年4月1日から5年間。

● 町道路線の変更

農道認定区間（垂柳線）を町道（古川戸線）として認定替えを行い、一括した道路管理を行う。総延長1004㍎。

● 辺地総合整備計画の策定

3年度から7年度まで5年間の、辺地地域対策事業をまとめた計画の策定。

【主な質疑】

表彰見直し

問 町勢功労者表彰の中に、文化部門はあるが、スポーツ部門がないのはなぜか。
答 教育・文化部門に含まれていると認識している。

高原食品センター使用料引下げ

問 引下げした理由は。
答 高原食品センターは整備から32年経過し、施設等の老朽化が進んだため、見直しをした。

出産祝金

問 祝金の額はどのようにして決めたか。
答 実施する市町村の状況を参考にした。出産前にはマタニティライフサポート金も支給している。

【主な質疑】

テレワークオフィス整備

問 具体的な事業の中身は。
答 2年度に有識者による検討委員会を立ち上げ、事業の概念の検討、※ゾーニングを行った。

特別交付税と繰越額

問 特別交付税が補正に計上されていないが見込みはどうか。
また、来年度への繰越額はどれくらいか。
答 ※ゾーニング・区分すること。ここでは空間をテーマや用途に分けて考えること。空間デザインを考えるうえで基本となるもの。

減収補てん債

問 どのような場合に起こせる地方債か。
答 新型コロナウイルスの影響で地方税の大幅な減収が見込まれ、2年度に限り対象が拡大。当町は、たばこ税と地方揮発油譲与税の減収分に補てんする。

畜産クラスター事業補助金

問 事業の対象は。
答 120頭規模のロボット搾乳の牛舎と、80頭規模のつなぎ牛舎の2棟の大型牛舎整備に対する補助金である。

繰越額

問 繰越額はどのくらいか。
答 繰越額は、この特別交付税と予備費などで、約2億8000万円と想定している。

2年度補正予算

会計名	補正額	補正後の予算
一般会計 (第7号)	5億1,335万円	93億7,221万円
国民健康保険事業 (第3号)	△1,354万円	9億0,464万円
農業集落排水事業 (第1号)	△1,341万円	2億0,210万円

補正予算

一般会計に5億1335万円追加し、93億721万円とした。

テレワークの推進へ

サテライトオフィスを整備

主な歳入は、地方創生臨時交付金1億7116万円、畜産競争力強化整備事業費補助金3億3803万円など国や県の支出金を増額し、町債を2083万円減額した。歳出は、特定施策推進

事業費でテレワークのサテライトオフィス整備、財政調整基金等の積立て、老人福祉センター整備の実施設計と敷地造成工事、畜産競争力強化整備事業費、学校情報通信技術環境整備事業などを増額した。各会計の補正額と主な予算の使いみちは左の表のとおり。

《一般会計の主な使いみち》

- 特定対策推進事業経費…………… 1億4,584万円
テレワーク施設整備工事や施設の備品購入のため
- 畜産競争力強化整備事業…………… 3億3,803万円
畜産クラスター事業への補助金
- 財政調整基金等積立金…………… 7,019万円
町債減債基金等への積立て
- 老人福祉センター管理経費…………… 4,630万円
高齢者福祉施設の実施設計業務及び敷地造成工事
- 学校情報通信技術環境整備事業費…………… 3,240万円
校内ライブ情報配信ネットワーク構築工事及びシステム機器等の購入
- 新型コロナウイルス感染症予防事業… 2,054万円
ワクチン接種に係る人件費などの費用